

平成20年度 教師海外研修（派遣国：マレーシア）実践報告書

- | | | | | |
|----|---------|-----------------------------|------|------|
| 1. | タイトル | 知ろう！考えよう！感謝しよう！今生かされていることに！ | | |
| 2. | 氏名 | 廣嶋 美和 | | |
| | 学校名 | 奈良県大和高田市立高田中学校 | 担当教科 | 英語 |
| 3. | 実践教科 | 英語 | 時間数 | 6時間 |
| 4. | 対象生徒・学年 | 中学1年生4クラス | 対象人数 | 140人 |

5. カリキュラム案

(1)実践の目的

- ・マレーシアの多文化社会を知り、コミュニケーションツールとしての英語の必要性を感じる。
- ・ 日常生活の裏側を知り、今生かされていることに感謝できる心を育てる。
- ・ 世界で働く日本人がたくさんいることを知り、視野を広げるきっかけとなるようにする。

(2)授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1 限目 マレーシアって どんな国？①	マレーシアに行こうと思ったきっかけを話す。 マレーシアでの経験を話し、日本との関わりを知ることでマレーシアに興味を持つようにする。	(1) 世界地図
2 限目 マレーシアって どんな国？② マレーシアの多文化 社会を知り、英語の 必要性を実感する	フォトランゲッジとマレーシアボックスを使いながら、マレーシアはマレー系、中国系、インド系などの多文化共生社会であること知り、コミュニケーションツールとしての英語の必要性を実感する。	(1) 世界地図 (2) マレーシアで撮影した写真 (3) マレーシアで収集したもの (ウータンのぬいぐるみ、セパタクロー、サバ州の国旗、シナモンスティック、お祈りカード、サロン)
3 限目 植物油脂ってなーんだ？ 日常生活を振り返り、植物油脂を知	6グループに分かれ、6種類のお菓子に共通して使われている「植物油脂」にきづく。 植物油脂って何だ？ ということでパーム油不思議発見クイズでパーム油のことを詳しく知る。	(1) 6種類のお菓子 (2) パーム油不思議発見のパワーポイント

る。		
パーム油不思議発見！	宇宙船地球号DVDを見て、植物油脂の使用用途とボルネオ象の現状を知る。	(1) 宇宙船地球号DVD (2) まとめ用の紙
4限目 便利な日常生活の裏側	消費者、生産者、企業、NGO、野生動物・森で暮らす人々の立場になり、パーム油とどう向き合うかを考える。	
日常生活の裏側を知り、それぞれの立場になって考える。		
5限目 自分にできることは何か考える。	これまでの授業をふまえて、自分にできることを、木の葉に書き、クラスで1本の木を完成させる。	(1) 木・葉型の画用紙 (2) 新聞・広告用の紙・模造紙
自分でできること・クラスメイトと協力してできることを実行する	クラスメイトと協力して、これまで学んだことをたくさんの人に知ってもらうため、新聞・広告を作る。	
6限目 世界で活躍する日本人	JICA奈良デスクの杉村さんに来て頂き、世界で活躍する日本人として、青年海外協力隊についてそしてご自身のヨルダンでの経験を語ってもらう。	
JICA出前講座		

6. 授業の詳細

1限目 マレーシアってどんな国①

夏休みにマレーシアからクラスの生徒にポストカードを送ったこともあり、生徒は私が海外に行っていたことは知っていた。

私がマレーシアにいったきっかけを生徒に話した。それから、マレーシアの村でのホームステイで得た、人の温かさ、自然の恵みの雄大さ、日本とは違うライフスタイルの良さを伝えた。また、マレーシアにも日本文化が広まっており、日本の漫画がアニメが有名なことを伝え、生徒はとてもびっくりしていた。実際私も驚いた、ホームステイ時に現地の子供達がやっていた遊びを紹介して、クラスでやってみると大変盛り上がり、一時は休み時間もそのゲームをするほどの人気。何人でも手をつないでする手遊び。

「ドラえもんはらしょう♪まんまんちー♪まんまんちくちく♪まんまんちー♪

まんまんなむなむ♪まんまんちー♪まんまんマイケルジャクソン♪まんまんちー♪」

マレーシアの子供も日本の子供もマイケルジャクソンの部分が大変気に入っている様子だった。

2限目 マレーシアってどんな国？

まずクラスを6グループに分ける。フォトランゲッジの手法で各グループごとに写真のパズルを渡し、協力して写真を並び替えてから、一体何の写真なのかを話し合います。4ページにあるように、マレー系2枚、中国系2枚、インド系1枚、日本系1枚の写真を使いました。一国にたくさんの文化があることをするとびっくりしており、コミュニケーションツールとして英語が必要だということもわかったようだ。その後は、マレーシアボックス(ウータンのぬいぐるみ、セパタクロー、サバ州の国旗、シナモンスティック、お祈りカード、サロン)をして、マレーシアについてさらに詳しく紹介した。

3限目 植物油脂ってなーんだ？

6グループに分かれ、グループごとに好きなお菓子について話し合う。その後、各グループに1つずつ人気のお菓子を配る。この時点で生徒は興奮していた。

しかし、食べるのではなく、お菓子の原材料をよく見て、今配った6つのお菓子に共通して入っている原材料をクラスで協力して探すよう指示をした。「砂糖」「食塩」などと言っていたが、やがて共通して入っているのは「植物油脂」だと気づく。その後、植物油脂って何だ？っということでパーム油不思議発見クイズをしてパーム油のことを詳しく知る。

・植物油脂は便利だけど、自然は破壊されている。でも生活はすぐには変わらないから難しいなと思いました。・パーム油はCO2を出さなかったり、たくさんとれたり、良い点があるけど、象とかの住むところがなくなって、私たちも考えないといけないと思った。・植物油脂の入った物を少しでも使わないようにする。

4限目 便利な日常生活の裏側

宇宙船地球号DVDを見て、植物油脂の使用用途とボルネオ象の現状を知る。生徒は純粋に動物が好きなので食い入るように映像を見ていました。そして6グループに分かれ、2グループが消費者、残りが生産者、企業、NGO、野生動物・森で暮らす人々の立場になり、パーム油とどう向き合うかを考えた。考えた結果をそれぞれの立場に立って、発表した。

・ 私たちが何も考えないで食べたり、使ったりしているけど、本当は色々大変なことがあることを知りました。・私は地球に優しく生きたいし、動物たちを傷つけるようなことはしたくないです。たとえ、それがどんな動物でも同じです。私たちが大人になることには環境がよくなると良いです。・やっぱり人間と同じで象にも1つしかない命があって人間にもたった1つの命がある。命は大切にしなければだめだと言うことがビデオを見て凄く感じました。

5限目 自分にできることは何か考える

今まで植物油脂の便利さやその裏側について学んできて、今の自分にできることは何かを一人ずつ葉の形をして画用紙に書き、1クラスにつき1本の木を教室に疑似植林する。そして、その中でも多かった身近な人に知らせるという意見をもとに、啓発掲示用の新聞と広告をつくる。

・ 一人でも多くの人に学んだことを伝える。・お菓子を食べないのではなく、ありがたみをもって食べる。・ 植物油脂が入った商品を大切に使う。

6限目 世界で働く日本人 JICA出前講座

JICA奈良デスクの杉村由紀子さんを招いて、世界で働く日本人ということで青年海外協力隊の話や、ヨルダンでの実体験を視覚資料を使いながらわかりやすく説明してもらいました。ヨルダンはマレーシア同様イスラム教の国であり、杉村さんの授業を通してイスラム教についてさらに理解を深めていた。

7. 授業をして見ての感想(所感・反省点・改善点)

マレーシアで学んだたくさんの事の中で、私は“今生かされていることのありがたみ”をわかって、身近にいる人や身近にある物に感謝の気持ちを持って接してほしいと思っている。実際に便利なパーム油の裏側を知ることで、「お菓子を食べないのではなく、ありがたみをもって食べる。」や「パーム油が使われている商品を大切に使う。」という意見がでてきて大変よかった。しかし、消費者・生産者・企業・森林に住む野生動物や人々・NGOの5つの立場に立って、パームとの向き合い方を考えたときは難しかったようだ。特にNGOのグループは頭を悩ませていた様子だった。全体的にまだまだ改善できるところがあるので、開発教育セミナー等に積極的に参加しながら、自分なりの教材をつくり、これからもマレーシアで学んだことを授業等を通して子どもたちに伝えて行きたいと思う。

8. 参考資料

「JICA研修資料」「既参加者の資料」「モノのこし方、行く末 京都自由学校」
「地球の歩き方 マレーシア」

フォトランゲッジ

マレー系



中国系



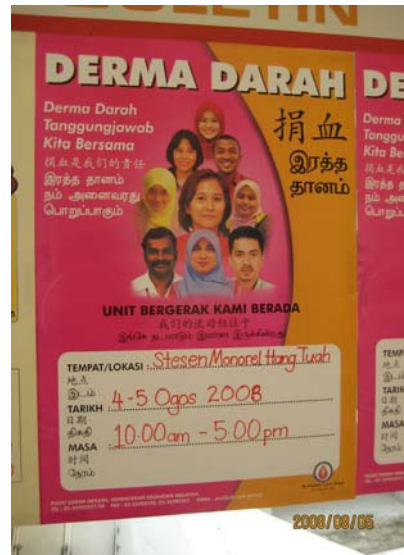
インド系



日本系



マレーシアの多文化社会を象徴するポスター



【植物油脂（パーム油）が使用されているお菓子】



【それぞれの立場に立って、どのようにパーム油と向き合うか考えよう！】



【私たち一人一人にできること】



【まずは、自分達が学んだことを身近な人に知らせることから始めよう！！】

学校の掲示物

